

第6学年算数科学習指導案

児童 男2名 女4名 計6名
授業者 石川 具昭

1 単元名

比例をくわしく調べよう [比例と反比例]

2 本時の指導 [7 / 17時間]

(1) 目標

比例の性質を活用し、問題を解決することができる。

(2) 指導にあたって

本時で最も重視したいのは、画用紙の枚数と重さが比例関係になっていることに気付き、比例を活用して問題を解くことである。したがって、自力解決で問題を解く前に、各児童が比例の性質を利用しようという意識を持たせたい。そして、自力解決で自分の考えをしっかりと説明できるようにさせ、比較検討で友達の考えも説明させることで、学習内容の定着を図りたい。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	支援の手だてと評価規準	準備物
つかむ 5分	<p>1 P13 1の問題を読み、とらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※東京書籍 新しい算数 6下</p> <p>P13「問題文」参照</p> </div> <p>2 本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>重さから画用紙の枚数を求める方法を考えよう。</p> </div>	<p>○画用紙の束を見せ、枚数を数えないで300枚準備するにはどうしたらよいかを問いかける。</p> <p>○「重さ」や「厚さ」を調べるといいといった反応が考えられる。ここでは「重さ」と「枚数」の比例の関係を使って問題を考えていくことをつかむ。</p> <p>○導入をスムーズに行うため、課題は授業者から提示する。</p>	<p>画用紙の束</p> <p>紙板書</p>
予想する 5分	<p>3 考えの見通しを持つ。</p> <p>・必要に応じて、グループで考える。</p>	<p>○考えるための条件を提示し、既習事項である「比例の式」や「比例の性質」が使えるそうだ、という見通しを持たせる。</p>	紙板書
やってみ	<p>4 自力解決をする。</p> <p>・シートに自分の考えを書く。必要に応じて、教科書を活用する。</p>	<p>○どう表現したらよいか思いつかない児童には、教科書を参考にしたり、グループの友達に聞いたりしてもよいことを話す</p>	学習シート

る	<p>※東京書籍 新しい算数 6下</p> <p>P14・15「みほ・ひろき・しんじ・かおりの考え」参照</p>		
10分	<p>5 グループ学習をする。</p> <p>・シートをグループの真ん中に置き、お互いの考えを交流する。</p>	<p>【考】比例の関係にある2つの数量を見つけ、比例の性質を問題の解決に用いることができる。(発表・シート)</p>	
たしめる	<p>6 考えを発表し、検討する。</p> <p>・代表児童が、板書しながら考えを発表する。</p> <p>7 それぞれの考えを比較して、気づいたことを発表する。</p> <p>・共通点・相違点をとらえる。</p>	<p>○自分の考えと比べながら聴くことを話す必要に応じて、友達の考えを読み取る活動も行う。</p> <p>○比例の式の「決まった数」を使っていることや、比例の性質である一方がa倍になると他方もa倍になることを利用していることに気付かせる。</p>	紙板書
<p>手立て(2) ②考えの根拠や共通点・相違点を意識した発問の吟味</p>			
21分	<p>8 本時の学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>画用紙の重さが枚数に比例することを使うと、画用紙を全部数えなくても、およその枚数を用意することができる。</p> </div> <p>9 適用問題に取り組む。</p> <p>・P15△の問題を考える。</p>	<p>○板書された言葉を基にまとめ、全体確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【知】比例の性質を理解している。(発表・ノート)</p> </div>	
ふりかえる	<p>10 本時の学習を振り返る。</p> <p>・学習感想を書き、発表する。</p> <p>11 次時の学習内容を知る。</p>	<p>○『①分かったこと、②次に考えてみたいこと、③友達の考えを聞いて思ったこと』について、ノートに記述させる。</p> <p>○友達の考えの良さについて記述している児童に発表させ、全体のものとする。</p> <p>○次時の学習内容を知らせる。</p>	

(4) 板書

10 / 4 (木) P 13

※東京書籍 新しい算数 6下

P13「問題文」参照

課 重さから画用紙の枚数を求める方法を考えよう。

考 ・比例の式 $y = \text{決まった数} \times x$
・比例の性質 x も y も 2 倍・3 倍になる

ま 画用紙の重さは枚数に比例することを使うと、画用紙を全部数えなくても、およその枚数を用意することができます。

※東京書籍 新しい算数 6下

P14・15「みほ・ひろき・しんじ・かおりの考え」参照